

テクノポートに工場増設

小西化学工業(和歌山) 樹脂原料を生産

化学品製造販売の小西化学工業(本社和歌山市、小西弘矩社長)が坂井市三国町のテクノポート福井に工場を増設することが決まり7日、小西社長が西川知事に報告した。航空機などに使われる炭素繊維複合材料向けの樹脂の原料を生産する。投資額は約25億円で、2017年2月に着手し、18年初めから稼働する予定。新工場で生産するのは、シ

ヒドロキシジフェニルスルホン(DHDP)という化学製品。炭素繊維複合材料をしながらにして強度を高める機能性樹脂「スーパーエンジンアリングプラスチック」の原料となる。この樹脂は航空機の尾翼などに使われているほか、人工透析や水処理の膜としても使用されている。またDHDPは高級感熱紙を発色させる顔料の原料にもな

工場増設を西川知事(左)に報告する小西社長=7日、県庁

るといふ。新工場の生産能力は年間3千トで、和歌山市の本社工場と合わせた生産能力は年間6600トとなる。同社は13年にテクノポート

福井に進出。炭素繊維複合材料を強化する特殊エポキシ樹脂を受託生産している。新工場は同じ敷地内に建設し、延べ床面積は1500平方以



4階建て。新たに10人を雇用する。懇談で小西社長は「福井で新たに生産する樹脂原料は今後、自動車向けの用途も期待される」と説明。西川知事は「本県の活性化に貢献していただき、大変うれしい。県としても応援していきたい」と話した。(前田卓)